

子供CSだより (vol.2)

令和6年7月5日(金)

熊野第一小学校5・6年生CS委員会 発行



CS委員会では、「地域の方々と小学生のみんなが関われる！」そんな機会を増やすための活動をしています！このCSマークは、学校と地域が繋がるということを表しています！

そして、CS委員会の活動を通して、熊野第一小学校とその周りの地域の方々が笑顔になろうという願いが込められています。

私たちは、イベントだけではなく、普段の登下校中も地域の方々としっかり挨拶をしたり何気ない会話をしたりすることも大切なことだと思っています！

熊野町がより良くなるように、いつでも心地よい生活ができるように、私達から積極的に挨拶をして、周りの空気を変えていけるとよいと思っています。

優しさは人から人へつながるもの！みんなの心がポカポカになれる優しさは伝統にもなると考えています。このCSの輪を広げていけるようにがんばります。

『4年生が、認知症について学習しました！』

5月15日(水)熊野町地域包括支援センター高齢者支援課の水主川さんと恵下田さんにお話をいただきました。

認知症とは、脳の細胞が死んでしまったり、細胞の働きが悪くなったりすることでなってしまうそうです。認知症になるともの忘れが多くなったり、元気がなくなってしまうそうです。

先生が、お年寄りの役をしてくれて、認知症の人にどうやって関わったらよいか楽しく学ぶことができました。認知症の人には3つのない(おどろかせない・急がせない・心を傷つけない)を大切にして関わっていくと、安心して過ごせるそうです。

ここで学んだことを大切に、認知症の人にあたたかく関わっていくことができると、熊野町がさらに良い町になっていくと感じました。



7月11日(木)には地域の方々が、児童クラブの1~4年生向けに『紙飛行機の会』を開いてくださることが決まりました！地域の方々に教えていただきながら、一緒に遊べる機会なので、児童クラブの1~4年生には、いっぱい楽しんでほしいと思っています。



(担当：CS委員会副委員長 6年 小島優花 ・ 5年 仙田篤杜)